
令和7年度第5回大山町総合計画審議会

令和7年11月14日（金曜日） 午後2時から午後3時25分
大山町役場 本庁舎2階 第2・3会議室

会 議 次 第

1 開 会

2 あいさつ

3 議 事

【報告事項】

(1) 令和7年度楽指数（地域幸福度）調査結果

【審議事項】

(1) 第三次大山町総合計画基本計画（案）

4 そ の 他

5 閉 会

出 席 者

1 審議会委員（出席委員13人）

提嶋 真知子	大山町人権・同和教育推進協議会
清 見 久 夫	大山町老人クラブ連合会 会長
佐々木 淳	大山森林組合 総務課長
杵 村 義 夫	鳥取県漁業協同組合御来屋支所 支所長
山 根 均	大山町商工会 会長
陶 山 友 文	大山町消防団 団長
金 田 結 花	大山町青年団 団長
松 信 多榮子	大山町女性団体連絡協議会 会長
荒 金 恵美子	大山町民生児童委員協議会 大山支部副支部長
門 脇 明 子	町民委員
本 間 唯	町民委員
菰 田 レエ也	鳥取大学地域学部 講師
加 藤 禎 久	鳥取環境大学環境学部 准教授

審議会委員（欠席委員6人）

林 田 徹	（令和6年度）大山町PTA連絡協議会 会長
西 田 菜々子	（令和6年度）中山みどりの森保育園愛育会 会長
押 村 行 史	大山町社会福祉協議会 事務局長
福 留 茂 樹	鳥取西部農業協同組合 中山支所支所長
足 立 敏 雄	大山町観光協会 会長
松 本 将 治	大山町建設業協議会 会長

2 事務局職員

山 根 篤 大	大山町 地方創生監
金 田 弘 美	大山町総合戦略課 課長
西 村 濟	大山町総合戦略課 主任
橋 本 久 恵	大山町総合戦略課 会計年度任用職員

午後2時開会

次第1 開会

○事務局 それでは時間になりましたので、ただいまから令和7年度第5回大山町総合計画審議会を開会いたします。それでは次第の2、開会に当たりまして山根会長からご挨拶をいただきたいと思います。よろしくお願いいたします。

次第2 あいさつ

○会長 皆様ご苦労さまです。今日が第5回目の最後の審議会ということになっておりまして、この後は、町長に答申をするという段取りになります。大体役場の中で議論していただいておりますので、今日最終的にチェックして、言い間違いなどがあれば答申に向けてよろしくお願いいたします。今日は遅れて大学の先生もお二方参加される予定になっていますが、間に合えばよし、間に合えばなかったらそれはそれでということで、始めていきたいと思いますのでよろしくお願いいたします。

次第3 議事

【報告事項】令和7年度楽指数（地域幸福度）調査結果

○会長 そうしましたら、私の挨拶は終わりましたので、議事に移ります。いつものとおりですが、私が発言者を指名をしますので、マイクを使用して発言をお願いします。そうしますと、報告事項として調査の結果が出てるので、事務局からお願いします。

○事務局 失礼します。総合戦課の西村です。予定としましては今日が最後というところで、また忌憚のないご意見をいただければと思います。よろしくお願いいたします。では、座って説明させていただきます。

（調査結果資料に沿って説明）

【審議事項】第三次大山町総合計画基本計画（案）について

○会長 はい。では報告が終わりましたので、本題に入っていこうと思います。「第三次大山町総合計画基本計画案」について、今日は基本計画案を全て通して審議することになっておりまして、最後に審議会からの基本計画答申案としてよいかお諮りする予定です。まずは、事務局から計画案の修正箇所について説明をお願いします。

○事務局 はい、では続いて失礼いたします。

(基本計画案資料に沿って説明)

○会長 説明が終わりましたので、主要な部分を点検していきたいと思います。ご意見のある方は手を挙げていただきますようお願いいたします。施策の1から6まで、13 ページから 26 ページに当たりますが、ご意見のある方は、手を挙げていただきたいと思います。読んでいただいて矛盾点がなければ、あるいは文言の修正点がなければと思いますが、いかがでしょうか。はい。お願いします。

○委員 13 ページです。まちで暮らすことを楽しむ「ひとづくり」の「ひと」が平仮名のは何か意図がありますか。1 番上のまちで暮らすことを楽しむひとづくりでの「ひと」です。

○会長 はい、事務局どうぞ。

○事務局 はい。こちら前回もご指摘をいただいて、そのときに私が、たぶん誤植だと思いますと説明したんですけれども、基本構想のときからこういった表現になっておりまして、「ひとづくり」という慣用句で使わせていただいている方だと、会長がそのときにご説明いただいた内容だったと確認いたしました。「ひとづくり」という慣用句で平仮名にさせていただいておりまして、もう一つの「人」については、一般名詞の「人」という表現の使い分けをさせていただいております。

○委員 分かりました。もう一点、同じページです。赤字で修正してありますが、最初は人を育てるというニュアンスで書いてあって人が対象でしたけど、文章の最後辺りで、「将来にわたって愛され続ける大山町をめざします。」というふうに、急に視点が変わったような感覚がありました。今の補足資料で以前の文書を読まれたんですけど、以前は「ふるさとを思い支えることができる子供たちを育むことをめざします。」だったのではないかと思います、「人」を対象にして書いてきたので、最後も「子どもたちを育むことをめざします。」という表現のほうがいいのかなと思って、ここで違和感を感じたので皆さんのご意見も聞けたらと思います。具体的にこのように直すといいのではないかなと思うのは、「将来にわたって大山町を愛することができる子どもたちを育むことをめざします。」とか、「人」で終わるほうがいいのかなと感じました。修正案で違和感がないようでしたら、それぞれでいいのですが、お願いします。

○会長 私もこの修正案に少し違和感を感じたのは感じたんですけども、事務局のほうで検討してもらえますか。

○委員 ごめんなさい。事務局が「人」で終わらせたところを「町」にしようといったのは私です。私の意図としては、「子どもたちに愛されるまちをつくるべき」であって、「大山町を愛することができる子どもたちをつくる」というのは、何か違う気がしたんです。結局、大人としては子どもたちが自主的に愛せるまちづくりをしなければならないのであって、子どもたちに愛しなさいというのはちょっと違うし、ここで言いたいこととも違うのかなということで、

結局、主体は「町」なのかなと思って、そういう意見をさせていただいたんですけども、文章としては何かごちゃごちゃしてしまいますね。

○委員 そういえばありましたね。すいません。

○会長 受け取り方で随分違うんで、私も違和感を感じて言いましたけども、言い回しが何となく違うなど感じましたが、微々たるものなので言い回しを考えていただきましょうか。それ以外でどうでしょうか。なければ後から振り返っていただいても結構です。続きまして施策7から10です。27ページから36ページまで、ご意見がありましたらお願いします。また振り返ってもらって結構です。次が37ページから70ページまでです。「もしも」に備えよう」というところまでです。

○委員 42ページ取組方針1の①です。「放課後児童クラブなど、いろいろなニーズに対応した、保育サービスの充実を図ります。」と書いてありますが、放課後児童クラブは保育の対象ではないのではないかなと思って、①に放課後児童クラブがあるのは、おかしいかなと思ったんです。それで、②に放課後児童クラブの記載があるから、①からは消してもいいかなと思ったのですが、どうでしょうか。

○会長 保育はそうですね。放課後児童クラブは保育の関係ではないかな。大山町ではあまり聞いたことないような気がするけど都会のほうにはあるのかな。大山町にもありますか。

○委員 放課後児童クラブあります。働くお父さんお母さんのために、親が迎えに来るまで見てあげます。さっきおっしゃったように、①にはちょっと該当しないかなと私も思います。②のところにちゃんと書いてあるので、①は削ったほうがいいのかと思います。放課後児童クラブは、こども課の管轄ですね。一時保育とか病児保育とかもあるんですけど、①よりも②できちっと説明されたほうがいいのかと思います。

○会長 事務局で確認して、よければ落としましょう。ほかにはないですか。

○事務局 すいません。もしかすると、まだご説明をさし上げてなかったのかもしれないんですけども、今までの審議会では、基本目標の3番目の「安心安全に生きがいを持って暮らせるまちづくり」の施策を子育てや福祉、健康という括りと、道路とか建物とかハード系のインフラの括りの二つに分けて確認をしていただいております。最終的に、基本目標3の「安心安全に生きがいを持って暮らせるまちづくり」は、簡単にソフトとハードみたいに分けることができないんじゃないかという議論がありまして、道路に関すること暮らしだし、健康や福祉に関すること暮らしだしということで、一つの基本目標の枠の中に全部入れています。そういった分類修正が入っておりまして、ボリュームが出てきてたところでございます。説明がなかったのかもしれないので申し訳ないです。

○会長 とりあえず70ページまで確認したということにして、71ページ以降の確認をお願いします。ご意見がありませんか。71ページ以降じゃなくてもいいですよ。振り返ってもらってもいいです。

○委員 85ページの修正箇所「沖縄の嘉手納町や環境省の人事交流」と書いてあります。沖縄の嘉手納町の人事交流は分かるんですけども、この環境省の人事交流はどんなことしていらっしゃるのでしょうか。

○事務局 今、私が環境省から出向で大山町の地方創生監という立場で来ておりまして、大山町役場からも一人環境省のほうに交換で行っていただいております。人の交換という交流です。

○会長 名前に馴染みがあるから大山町の人だと思ってました。

○事務局 加えて嘉手納町とも職員の人事交流をしておりまして、嘉手納町の保育士が一人大山町で勤務していきまして、役場の一般事務の職員が一人嘉手納町に行っております。

○会長 嘉手納町に行けた人はいいいですね。はい。

○委員 88 ページの取組方針2です。ここの「交流のきっかけ」という「きっかけ」のところを「交流の機会」に直してはどうかと思ったんです。それというのは、①と②に赤字で直してくださってるところに、「交流の機会を大切にし」ということが②でも繰り返されています。「交流の機会」と同じような意味なのか、または「きっかけ」にしたい何か特別なニュアンスがあるのかもしれないので、その辺りを確認させてもらって、「きっかけ」より「機会」のほうがいいのかと少し感じました。

○会長 「きっかけ」よりも「機会」のほうがいいのかもしいない。事務局。

○事務局 はい、ありがとうございます。皆さんいろんなご意見がある中だとは思っているので、私もどれがいいというところではないんですけども、修正前は「きっかけを大切にする」ということで、本文中に「きっかけ」をたくさん使わせてもらっていたんです。それは、ワーキング・グループ会議から「きっかけ」を大切にしてほしいという意見があったからですけども、同じワーキング・グループ会議で別の方からは、「きっかけ」ばかりということもあって、「機会」とか他の言葉に置き換えた修正を今回入れさせていただきました。これが何ということではなくて、こういった経過があったという説明ですけども、それらを踏まえて、また皆さんからご意見をいただけたらと思います。

○会長 はい。皆さんどうですか。「きっかけ」というと少し何か考え込みますよね。「きっかけ」ってどういうことを「きっかけ」って言うのかなと、ハテナが出てくると思うんですけど、「機会」のほうがいいのか。どうでしょうか。

○委員 私は、「機会」がいいです。

○会長 はい、どうぞ。

○委員 私は、この事務局案が好きです。マイノリティかもしれませんが、「機会」は分かりやすくいいんですけど、「きっかけ」だと何か「機会」ほど重くなくても、たまたま出会った何かひょんなこと、みたいなニュアンスも入っているような気がして、そちらのほうが小さな「機会」も大事にできる気がします。あくまで主観的ですが、ほかの皆さんはいかがですか。隣に渡してみましようか。

○会長 はい。

○委員 私も「きっかけ」と「機会」をこういうふうに二つの言葉を使ってもらったほうが、両方考えることができているかなと、この案に賛成です。

○会長 はい。

○委員 私どちらでもいいです。

○会長 はい。

○委員 「きっかけ」も残したほうが、「きっかけ」は「機会」と微妙に違う。

○会長 はい。

○委員 私はワーキング・グループ会議の話もあるので残したらいいんじゃないかと思います。

○会長 はい。決まりましたかね。このままでいきたいと思います。その他ありませんか。はい。

○委員 この文章とは別ですが、同じページの主要指標に交流参加者数のところですが、テメキュラは当初値 29 人で目標値 27 人と少し下がっていて、嘉手納は当初値 12 人で目標値 16 人ということですが、全体的にどういう傾向にありますか。参加人数が少なくなっているような傾向にありますか。

○会長 その辺りは事務局は分かりますか。

○事務局 はい。結論から申し上げますと、実数は承知をしておりますが、全体の修正として主要指標の表の備考欄に担当課が傾向を記載しております。アメリカテメキュラ市、韓国襄陽郡については、これまで横ばい傾向であるとあります。募集人員 27 人ということで、満員を目指すという目標値を掲げているので、おそらくほぼ満員の交流が続いているという状況なんだと思います。一方で、沖縄県嘉手納町については、ばらつきがあるということなので、満員になる年があれば少ない年もあるだろうという中で、満員になるように参加者を募って交流を続けていきたいという目標設定をしていると思います。前回ご指摘をいただいて、今回このような修正をさせていただきました。

○会長 はい。はいありがとうございます。どこの区切りということはないんですが、次に 81 から 88 まで、全体を通して。はい、どうぞ。

○委員 書き間違いという点です。79 ページに修正漏れが残っていると思いました。80 ページの取組方針 2 に、「自然の恵みが何でもある」ではなくて「豊富にある」と直してあるので、79 ページの下から 3 行目も同じように「自然の恵みが豊富にある大山町」という、ここもきっと直し忘れですよ。

○会長 はい。直しましょう。

○委員 それともう一点、34 ページも書き間違いだろうと思います。34 ページの主要指標の目標値のところが、令和 8 年になってますけど、令和 15 年でしょうか。

○事務局 はい、確認をさせていただきたいと思います。細かなところになるんですけども、計画が令和 15 年度までなので、令和 15 年度までの目標値設定をさせていただきたいと思っているんですけども、指標の年度を入れたことによって、指標によっては、個別計画の指標を使っているものがありまして、そうすると現状では、例えば令和 8 年度までしか見通せないとか、令和 9 年度までというものが少しだけ出てきています。そういったものでなければ令和 15 年度に修正させていただいて、そういった方向で統一してみてもどうかと考えております。

○会長 はい。その辺りは調べて確認してもらって矛盾がないように。

○委員 失礼しました。そういえば、指標によって令和 9 年というのもありますね。

○会長 はい。確認をしてもらうことにします。あとは「計画推進のために」というところが残っておりますが、89 ページからあります。いかがでしょうか。もしくは遡っても大丈夫です。

○委員 今言われた 89 ページの文章の中で、最後のところ、「庁内外」の「庁」は「庁」ですか。「大山町」の「町」ではないんですか。

○会長 言葉は通るけど大山町の「町」なのか。本庁の「庁」なのか。この辺りを確認してもらいましょう。大山町の「町」にしたほうが意味は通りやすいですよ。この「庁」だと役場以外ということで範囲は広がりますよね。行政と町民の念押しみたいな、これに沿ってやっていきましょうという考えの基本計画なので。他に何かありましたか。どうでしょうか。事務局で確認して、検討してみてください。

○事務局 はい、確認します。

○委員 この辺から急に難しくなりますね。行政サイドに向いては。

○会長 そうですね。この文章は、おそらく大山町の町民と行政とがこういう形で進めていきたいと思いますという念押しの部分だと思うので、極端なことがなかったら、あとは施策ごとに相談しながら進めていけばいいことだと私も考えているので、あまり根掘り葉掘り細々と決めてしまうと今度はやりにくいから。はい、どうぞ。

○委員 最後のこのところは、私たちもたぶん結構難しいし、表現の仕方もいろいろなので、私はあんまりいじらないほうがいいのかという気もします。さっき数字のことを言われたんですけど、計画を作って、たぶん8年の間に検証委員会があって、数字も直近のものが出てきて、検証委員会で検証していくと思うので、あまり気にしてもしょうがないのかなと思っております。

○会長 はい、ありがとうございます。本筋さえ合っていれば、あとは同じ町内のことですので、修正していけると思うし、そうしていかないと本当の町の行政ということにならないので、大きな間違いがなければ、あとは事務局のほうでも確認していただいたりして、最終的な答申を今月の21日に町長にする予定になっております。たぶん大山町全体に計画を回すことはないと思うけれど、ホームページか何かで見ることは可能だろうと思うし、今は紙媒体もそんなに無駄をしなくてもいいじゃないかなと思うし、情報は取りに行くもんだという時代ですので、それでいいと思います。そもそもおっしゃったように、途中で検証がありますから、そのときにも若干の修正は可能だろうと思うし、ずっとこれでお経のように何百年も続けるものじゃないので、あとは事務局にお任せしようかなと思っております。ただ、後からでもいいですから、もしかしてここがおかしいということがありましたら、事務局のほうに伝えてもらえれば、庁内でまた検討してもらおうということになると思うので、そういうことで認識をいただければいいかなと思います。一通り終わったということで、計画案はよろしゅうございますか。

(「よし」と呼ぶ者あり)

○会長 はい。教授が来られる予定だったでしょう。最後に挨拶ぐらいしたいと思ってたんですけど、そうは言っても皆さんもお忙しいですから。はい、どうぞ。

○委員 最後に事務局の皆さんに感謝を伝えたいなと思いまして、本当にてんでばらばらにいろんな意見を言いたいように好き勝手に言わせていただいたんですけど、さっきおっしゃられたみたいにその思いをすごく丁寧に汲んでくださって、いいようにまとめてくださって、この参考資料の「関連計画の概要一覧」を読んでも、私ぱっと見て結構感動していて、町役場の職員さんたちがこういう計画にのっとなって、この概要に書かれたようなことを推進しようと毎日働かれているのだと思うと、大山町への愛がまた結構湧いて来たところです。優しい言葉で書いてあるので。はい。なので改めまして、お疲れさまでしたとありがとうございましたを伝えたいと思います。ありがとうございます。

○委員 皆さんの総意ですね。

○事務局 ありがとうございます。

○会長 総意だとおっしゃってますんで、皆さんがそう思われたと思います。

○事務局 先生が今日オンラインでいらっしゃっておられまして、よろしければコメントをいただけますと。

○委員 改めまして、まずはお疲れ様でした。数日前に僕の方で個別に意見書みたいなものを出させていただいて、この基本計画は直前にもものすごい一生懸命ブラッシュアップ、磨きがかけられて、とてもいいものになったと思ったのと同時に、この直前まで今日の現場の皆さん含め、いろんな方々が一生懸命に加筆修正されたことがよく伝わる内容でした。なかなか十分な貢献ができたわけではなく、歯がゆい気持ちもあるんですけども、私自身もこの前は友好館に行かせていただいたりとか、少しずつ勉強させていただいたりとか、いろんな大山の面白い場所とかも少しずつ頭に入ってきているので、可能な限り機会あれば学生とかいろんな関係者の方々も巻き込んで大山町に足を運べるように、いろんな方策を私自身もしてみたいと思います。私の方が全然知らない勉強不足の身であるものですから、これからまた何か機会がございましたら、いろいろと教えてください。今日はありがとうございました。

○会長 先生お世話になりました。ありがとうございました。

○委員 授業がありまして、前半のお話には参加できなかったんですけど、計画全体を読ませていただいて、すごく細かいところまで幅広く色々な住民の需要を最初にアンケートを取られて、課題に対応したどういう対策を取っていくかと論理立てて、住民の目線で非常に適切な計画が全体としてできたのではないかなと。一委員ですけど、審議会に参加して非常に嬉しく思っています。私の専門はグリーンインフラ・緑地計画で、大山も含めて海と山との豊かな自然をいかに活用、そして保全していくかというところなんですけど、その部分についても、例えば活用の面で実際の今のインバウンドの観光に見合った対策ですとか、これからの地域の保全とか活動に必要な対策が取れているかなと思いましたので、今出来上がった政策について、非常に充実度が高いものだと思いますし、私の方では参加することができて、非常にいい機会をいただいたと思っております。ありがとうございます。

○会長 先生、ありがとうございます。審議会全員がお付き合いいただいて感謝しておりますので、今後ともよろしくお願いします。ありがとうございました。先生もご参加いただいて、最後のご挨拶ができましたので、これで審議会の方は終わりたいと思います。あと、先ほど言いましたように、21日に答申を行う予定でございます。その間に先ほど言いましたように、何か落としががあったら事務局の方にご連絡をさせていただくようお願いしたいと思います。では、お忙しい中、長時間ありがとうございました。お疲れ様でした。事務局も大変でした。お疲れさまでした。

次第4 その他

(事務局から事務連絡)

次第5 閉会

午後3時25分閉会